

展 開 例 (17)

- 1 小項目 適応と個性の形成
- 2 指導目標 「現代の青年の心理的・社会的諸問題」の指導と関連させながら、適応との関連で個性の形成の問題を考えさせ、自らの人格をどう形成していくかという課題について考えさせる。
- 3 指導計画 (1) 適応と個性の形成…………… 4時間(本時は3時間目)
- 4 本時の学習指導案

題 材	成熟した人間		
ねらい	成熟した人間の条件について考えさせ、自己を高める努力が必要であることを認識させる。		
過 程	指 導 内 容	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
導 入	1 「人格者」といわれる人	<ul style="list-style-type: none"> ○ 私の尊敬する人をあげ、尊敬する理由を説明する。 ○ 一般的に「人格者」とは、どういう人というのか話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4～5名を指名して、発表させる。 ○ 自分の級友、先輩、教師などを例に具体的に考えさせる。
展 開	2 成熟した人間の条件	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料①を読み、オールポートやアンダーソンが説く成熟した人間の条件を、具体的に考える。 ○ オールポートやアンダーソンの説く成熟した人間の条件と「私」を比較して、表にまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「私」に欠けている点を理解させ、自己を高めるための課題を認識させる。 ○ 「私」の良い点も自覚させ、さらに伸ばしていこうとする意欲をもたせる。
	3 青年の自己形成の課題	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料②を読み、「私」の発達課題について話し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 現在の「私」を高めていくための課題について、他人の考えを聞きながら具体的に考えさせる。
終 末	4 本時のまとめと次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> ○ 資料①, ②, ③を参考に「私」の発達課題をノートにまとめる。 ○ 次時の予告(自己の実現と現代社会)を聞く。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 客観的な理解に留まることなく主体的な理解を深め、自己の課題を発見し、「私」を高めていく努力が大切であることに気付かせる。